

堀川の水質 記事

堀川 1000 人調査隊 「鯨城・堀川と生活を考える会」隊 水質調査おつかれさまです。最近 堀川がきれいになったと実感されていると思いますが、去る 2 月 6 日 1000 人調査隊発表会の記事が中日新聞に掲載されましたのでスクラップを掲載します。

23 市 民 2016年(平成28年)2月20日(土曜日)

堀川水質 過去5年で最良

市内を流れる堀川の水質を市民の目線で調査し、浄化に取り組む市民団体「堀川1000人調査隊2010」は、堀川の水質の現状を公表した。まとめによると「過去五年間で最も水質の良い状態になっている」という。(奥村圭吾)



堀川の水質について発表する「堀川1000人調査隊2010」の服部事務局長(手前右) 中区の名古屋都市センターで堀川沿いに姿を現した準絶滅危惧種のオオタカ 西区の五条橋周辺で(堀川1000人調査隊2010提供)

調査隊は二〇〇七年サンプル百二十八件を発見し、現在は堀川 加えた四千百三十二件沿いの住民ら五万三千人を分析。まとめによると、毎年四、六と、水をすくって透視度と九、十二月に水の度を調べる透視度の平均値は八十で、五年の項目を調査し、環境 前より十ほど改善が美化を図っている。みられた。水辺には力



市民調査隊が公表 水鳥や昆虫、魚も確認

や昆虫もよく見掛けるようになったという。調査後の一、二月には、ボラの群れが北区の北清水橋周辺まで遡上する様子を確認。環境省レッドリストの準絶滅危惧種に指定されているオオタカが西区の五条橋付近の水辺を飛ぶ姿も見られた。

調査隊が今月、中区の名古屋都市センターで開いた会議で報告した。調査隊の服部宏事務局長(左)は「生物の多様化は水質が改善していることの表れ。微生物がヘドロを分解するなどの好循環につながってほしい」と語った。

調査隊では大潮の四月八日に「春の大潮一斉調査」を行う。新たな会員も常時募集している。(調)調査隊事務局 052(222)2686